



知っていましたか？

あの夕張以上だったんですよ！

公社・三セクに対する債務保証

「隠れ負債」の比率が高い自治体ランキング

順位	地方自治体名	債務保証・損失補償の標準財政規模比 (%)	債務保証・損失補償総合計(億円)
1	青森県大鰐町	223.4	73
2	大阪府交野市	174.1	226
3	福岡県久山町	146.3	34
4	長野県下諏訪町	144.0	66
5	滋賀県栗東市	139.6	187
6	群馬県長野原町	130.5	31
7	北海道夕張市	128.1	57
8	奈良県上牧町	116.8	54
9	奈良県平群町	111.4	46
10	茨城県高萩市	108.6	80
11	大阪府高石市	102.3	125

こんなところに
下諏訪が...



地方公社や第三セクターに対し、地方自治体が債務保証や損失補償をする、いわゆる「隠れ負債」が一部市町村で大きな負担になっている実態が明らかになった。総務省の二〇〇七年三月末時点の資料によると、健全性の基準となる「標準財政規模」を隠れ負債が超えた自治体は青森県大鰐町や北海道夕張市など十一あった。塩漬けの土地を抱える土地開発公社向けに保証しているケースが多い。自治体が債務の肩代わりを迫られるば財政運営に支障が生じ、住民サービスの低下につながる可能性もある。(標準財政規模は3面「きょうのことば」参照)

自治体別の隠れ負債が判明したのは初めて。総務省の資料を基に日本経済新聞社が集計したところ、税金などに基づく標準財政規模一に対する比率が全国で最も高かったのは青森県大鰐町で二二三%。同町の標準財政規模は三十二億円だが、大鰐地域総合開発など三法人に対して七十三億円の損失補償をしていた。パブル期のリゾート開発の

失敗で金融機関から肩代わりを求められ、一九九七年から三十年計画で返済している。次いで比率の高かったのが大阪府交野市、福岡県久山町で、いずれも土地公社に対して多額の債務保証をしていた。

3月
3月末
11市町、財政規模超す

隠れ負債自治体に重荷

日本経済新聞 1月 日
発行所 日本
東京本社〒100-1
東京都千代田
大阪本社〒540-1
大阪市中央区
名古屋支社〒460-1
名古屋市中
西部支社〒462-1
福岡支社〒812-1
福岡市博多区
札幌支社〒060-1
札幌市中央区

この先5年後、10年後はどうなってしまうのでしょうか？
今のままで本当にいいのでしょうか？